

(様式11)

令和3年 8月 6日

論文審査の要旨 (課程博士)

生物システム応用科学府長 殿

審査委員 主査 _____ 橋本洋平
副査 _____ 豊田剛己
副査 _____ 佐藤合一
副査 _____ 鈴木丈詞
副査 _____ 杉原創

学位申請者	_____ 第3 _____ 専修グループ 平成 _____ 31 _____ 年度入学 学籍番号 _____ 19701116 氏名 高本 慧
申請学位	博士 (農学)
論文題目	黒ボク土農耕地に含まれるリンが集積している比重の階層と化学形態の連関
<p>論文審査要旨 (600~700字程度)</p> <p>本論文の目的は、(1)アロフェン質および非アロフェン質黒ボク土に含まれるリンの化学形態ならびに蓄積機構の解析、(2)長期間の堆肥・化学肥料の施用と輪作が黒ボク土のリンに及ぼす影響の検証にある。多量のリンが黒ボク土に蓄積し、作物病害の発生や流域の環境負荷の原因となっていることに鑑みると、黒ボク土の適切な土壌・施肥管理の必要性が課題となる。既往の研究では、アロフェン質と非アロフェン質黒ボク土でリン収着相が異なることを考慮して詳細に検証した事例はなく、本研究の新規性が認められた。本研究で得られた結果は、無機態リンと有機態リンの両方の濃度を基に、アロフェン質と非アロフェン質黒ボク土で別々に設定したリン管理基準を、新たに設ける必要があることを示唆している。土壌管理および施肥管理によって無機態リン濃度だけでなく、有機態リンの濃度と化学形態が変化する可能性を示した点は、当該分野における重要な成果といえる。本研究の成果は黒ボク土における、持続的なリンの土壌・施肥管理法の開発に大きく寄与する成果を含み、本学の博士 (農学) の学位を授与するにふさわしいと判断した。</p>	
<p>【審査経過】</p> <p>(通常の審議の場合)</p> <p>令和 3年 5月 10日 博士後期課程修了に係る学位申請</p> <p>令和 3年 7月 7日 審査委員の選出・指名・付議、論文審査委員の付託 (運営委員会)</p> <p>令和 3年 8月 6日 学位論文発表会</p> <p>令和 3年 8月 20日 グループ会議で論文合格及び最終試験合格を承認</p> <p>令和 3年 8月 25日 学位授与認定・修了認定 (教授会)</p>	